

MITSUKE 70th
ANNIVERSARY

1954 ▶▶ 2024

「暮らし満足No.1のまち」を目指して ～令和6年度見附市の取り組み～



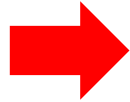
見附市長 稲田 亮

市民からの評価

R4年度 市民アンケート

Q. 見附市は住み良いまちですか？

- ▶ 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合

90.3%  **91.2%** 
(R2)

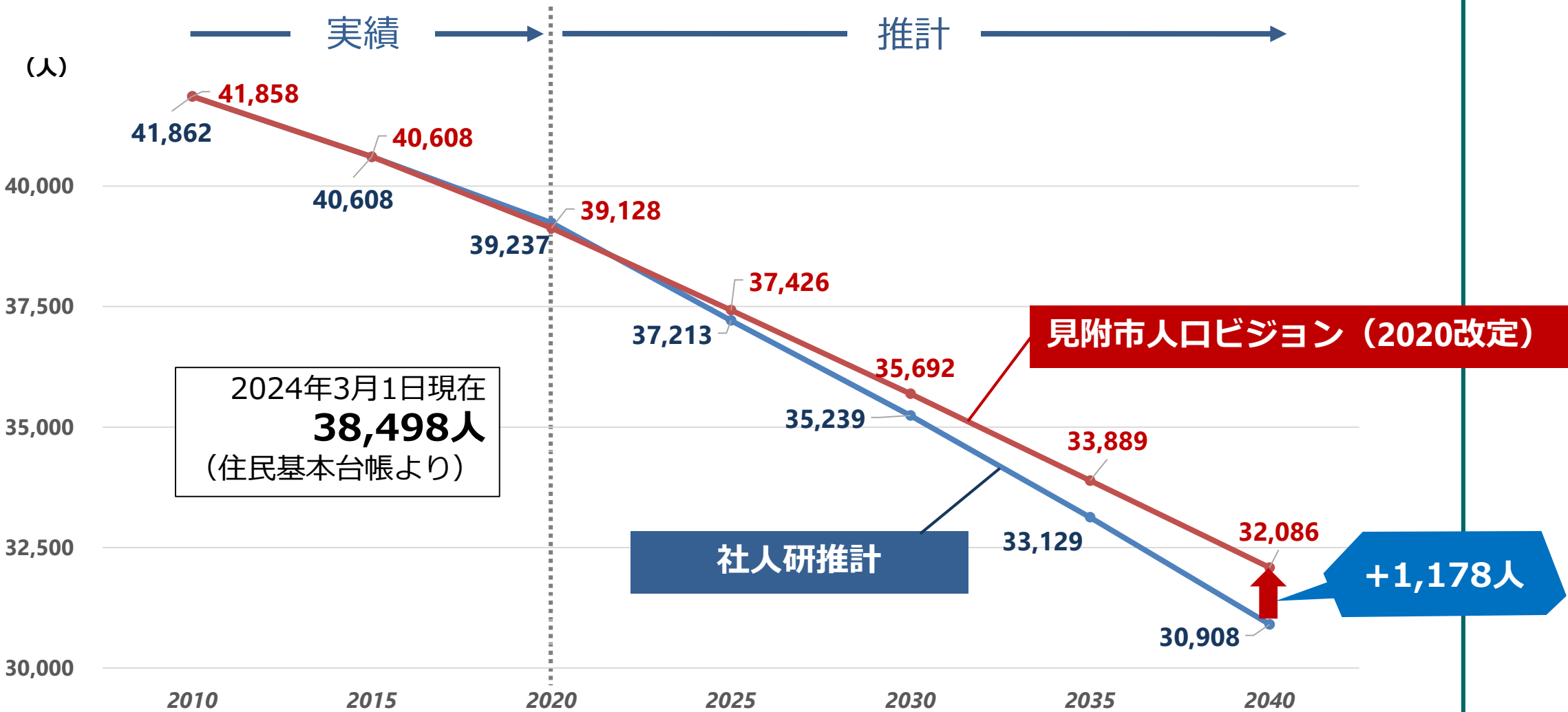
- ▶ 「住み良い」「どちらかというと住み良い」と回答した人の割合が

→ 高い年代 ①**70代** 96.2% ②**60代** 95.0% ③**50代** 91.5%

→ 低い年代 ①**20代** 83.4% ②**40代** 88.6% ③**30代** 91.1%

(R6年度 市民アンケート実施予定)

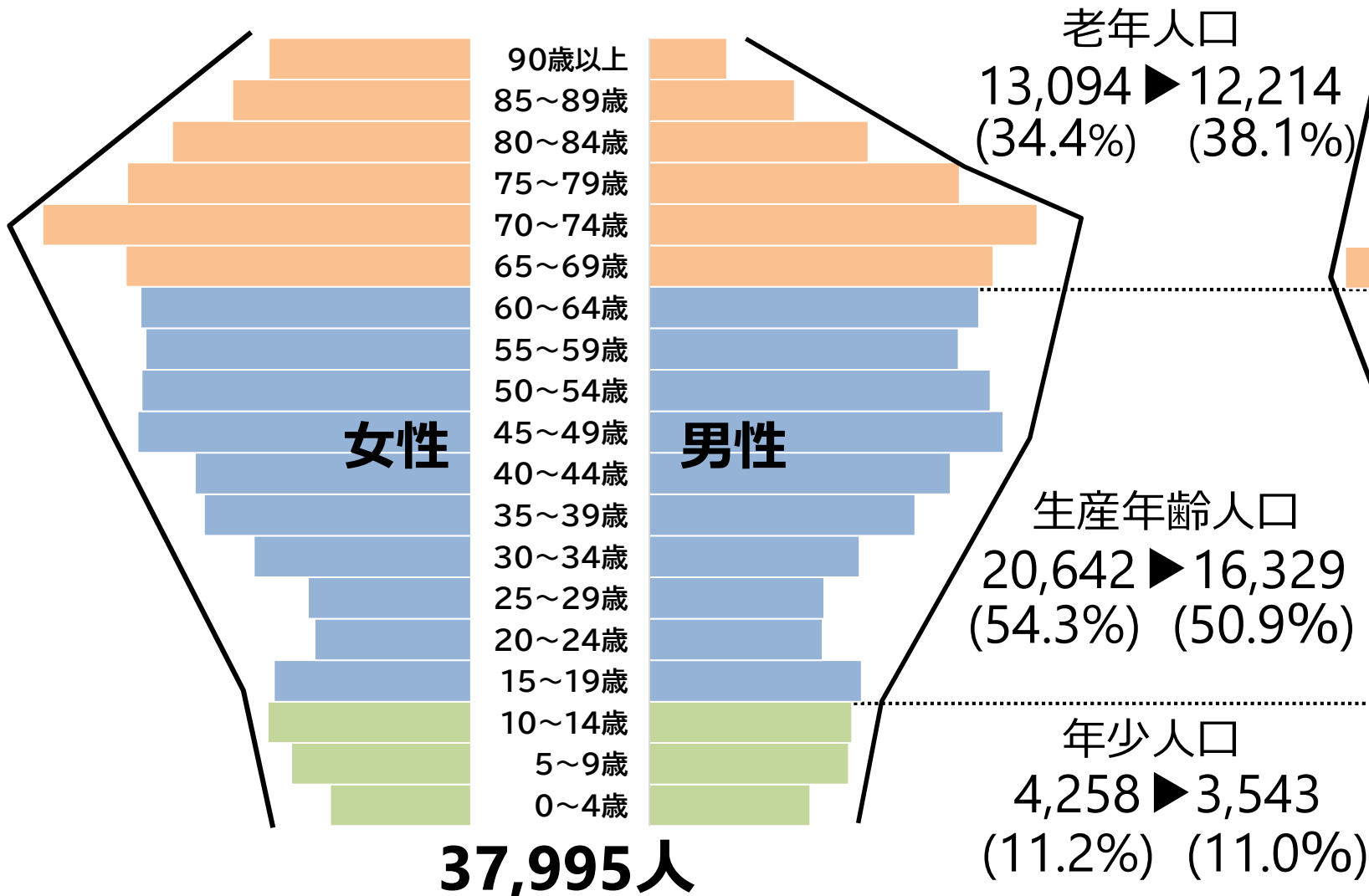
見附市の人口の推計と目標



※ 2020年までは国勢調査実績値。2025年以降は社人研推計（2018公表）。

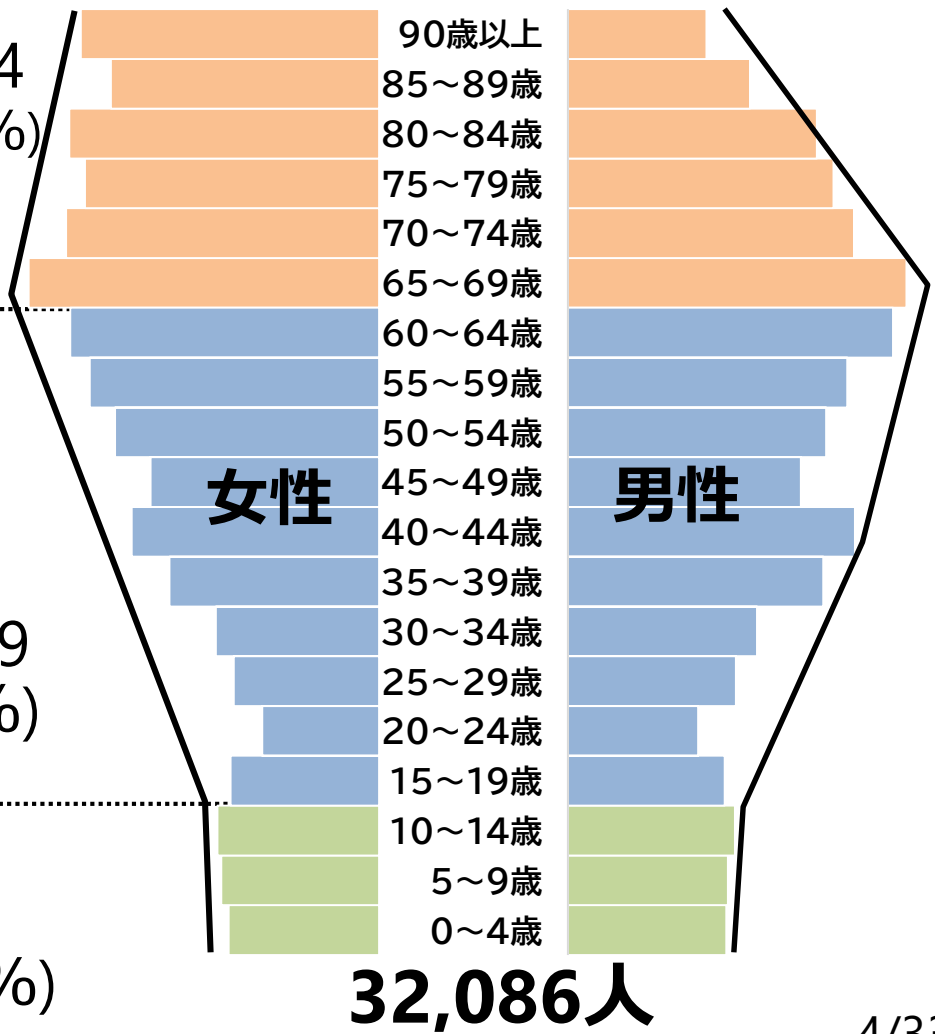
見附市の年齢別人口

2023年度

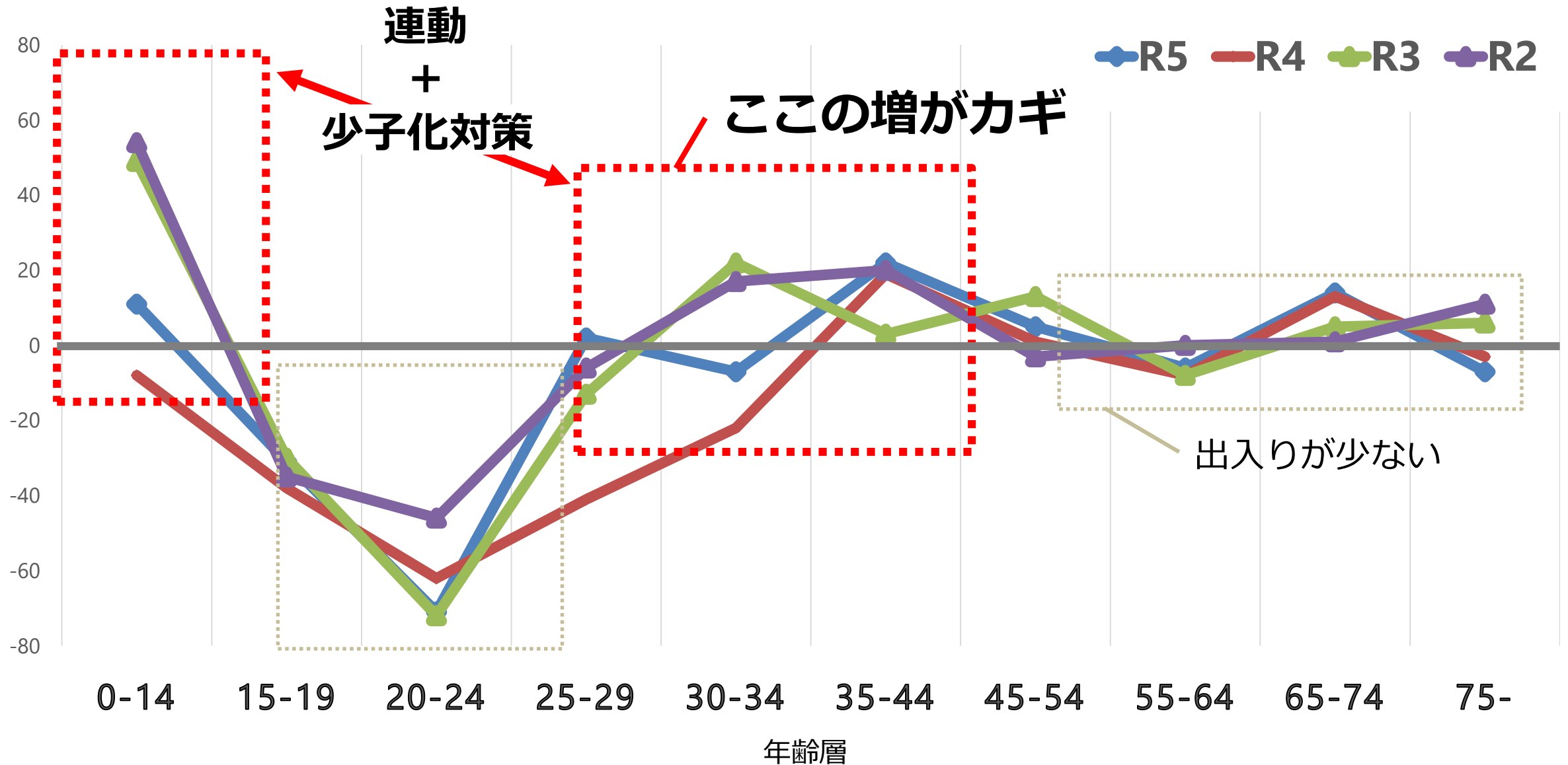


2040年度（推計値）

※見附市人口ビジョンより



見附市の年齢階層別の人口移動状況



※新潟県人口移動調査より（前年10月～9月の人口移動の状況）

今後の課題と取り組むべきこと

人口減少抑制に向け

「住みたい」

「働きたい」

「子育てしたい」

と思えるまち

主なターゲット

若者や子育て世帯

- 魅力的な産業や働く場の創出
- 住環境や子育て環境の充実 etc



高齢者、障がい者 誰も取り残さない

誰もが安心して暮らせるまち

- 地域医療や防災対策の充実
- 市民力も活かして課題を解決

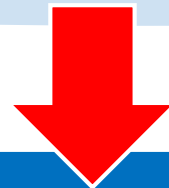
市内外に広く発信

→ 移住定住促進

年間出生率

No.1 (※)
(県内20市)

※新潟県の統計データを基に見附市が独自に年間集計



← リソース確保のための見直し

誰もが「暮らし満足No.1」と思えるまちに向け

新たなチャレンジ

総合計画と7つの柱

「暮らし満足No.1のまち」を目指して

第5次総合計画後期基本計画

「3つの方向性」



力を入れて取り組みたい

「7つの柱」

- ① まちと産業を元気にする
- ② こどもと子育てを支える
- ③ 健幸づくりを支える
- ④ 暮らしの安心・安全を確保する
- ⑤ 市民の皆様に寄り添う
- ⑥ あらゆる力を結集する
- ⑦ 行財政を検証し必要に応じ見直す

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 見附への移住・定住と結婚の促進

PR

- ▶ 民間事業者と連携した
移住定住プロモーション
- ▶ 首都圏などでの移住定住セミナー

関係づくり

- ▶ **見附さぽーた**交流会の拡大
若年層会員を対象に
つながりを強化

移住定住へ

- ▶ **お試し移住拠点**の整備

結婚支援

- ▶ 県の婚活マッチングサービスの
登録支援

新生活支援

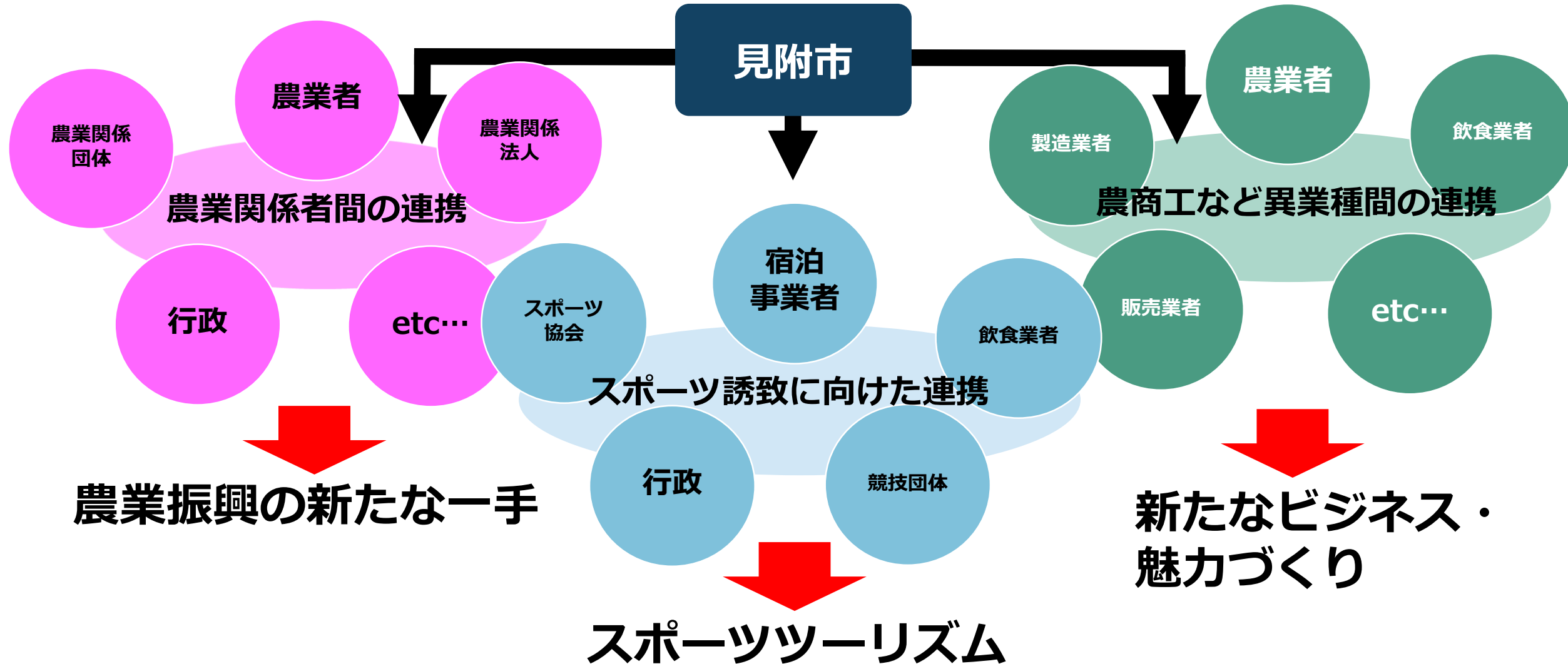
- ▶ 市内での新婚世帯の新生活支援



見附に住む・見附で子育てする人を増やす

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ まちや産業を元気にする体制と交流の強化



7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 関係人口の拡大

スポーツツーリズム

- ▶ 合宿などの来訪者へのおもてなし
- ▶ 女子野球大会への支援



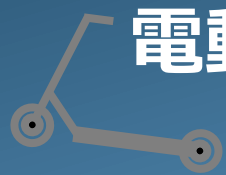
インバウンド

- ▶ 観光ガイドブック
英語翻訳版の作成 など

訪日外国人伸び率 全国5位
(2019年と2023年1月～5月比較)



電動キックボード



- ▶ 道の駅パティオにいがたへの導入

R6.6月レンタル開始予定 /



▶ 見附で働く仕組みの構築と強化

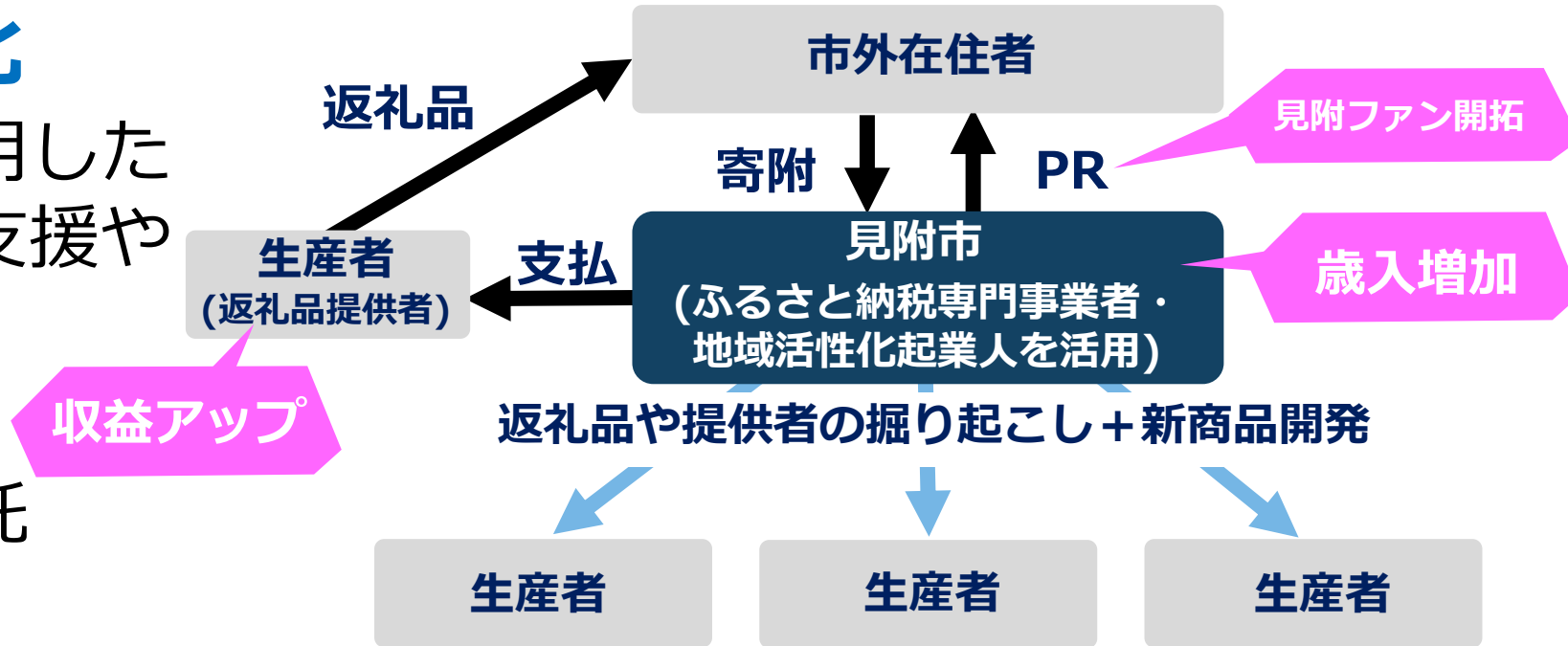
- ▶ 市内事業者のみが参加する就職ガイダンス開催
- ▶ 農業者の収入保険加入の促進
- ▶ 農繁期の人手不足解消
農作業労働力確保支援アプリ利用料補助



7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ ふるさと納税の強化

- ▶ 地域活性化起業人を活用した市内事業者の事業拡大支援や返礼品の開発
- ▶ 寄附額の増加に向け専門事業者に業務を委託



見附市の人気返礼品



▲お米



▲極太アスパラ



▲ニット製品

開発した
新たな
返礼品



▲見附産米100%！
純米大吟醸「白藤郷」

見附産の栗や
サツマイモを
使用したアイス▼



7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 地域の交通環境の充実に向けて



課題

✓ 夜間帯の足の確保

✓ 郊外地域における足の確保

経済活性化

地域活性化

- ▶ ジャンボタクシー夜間運行（ナイトコミタク）の社会実験
- ▶ バス・タクシー会社への第二種免許取得支援
- ▶ デマンド型乗合タクシーのあり方
- ▶ コミュニティワゴンの活用



ライドシェアの議論もふまえ 公共交通のあり方を検討

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 見附駅周辺整備事業

交流拠点 MITSUKERU

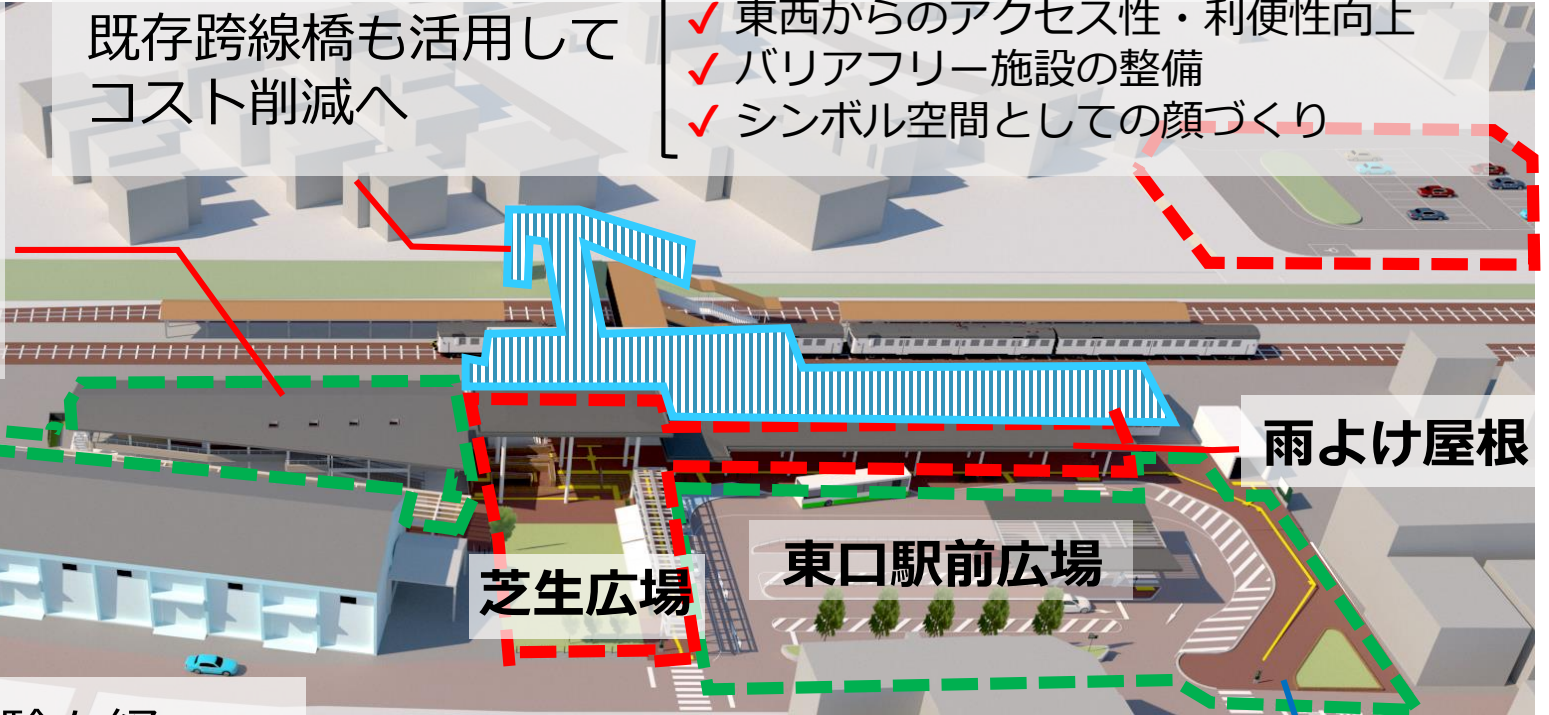
駐輪場2階を
リノベーション
(R6.5月オープン)



自由通路・駅舎

既存跨線橋も活用して
コスト削減へ

- ✓ 東西からのアクセス性・利便性向上
- ✓ バリアフリー施設の整備
- ✓ シンボル空間としての顔づくり



送迎用駐車場

雨よけ屋根

芝生広場

東口駅前広場

コインパーキング 社会実験を経て
本格運用



地中熱を利用し
歩道を融雪

- 再検討を行った範囲
- 前期計画(~R6)範囲
- 後期計画(R7~)範囲

7つの柱 ①まちと産業を元気にする

▶ 見附駅交流拠点 MITSUKERU

R6.5月オープン

- ▶ H30「見附駅周辺つかう会議」が始動
- ▶ 学生・地元企業・市民の方と社会実験を重ねながら、**利用者の声を施設に反映**

➡ 見附駅周辺のにぎわいや交流を創出

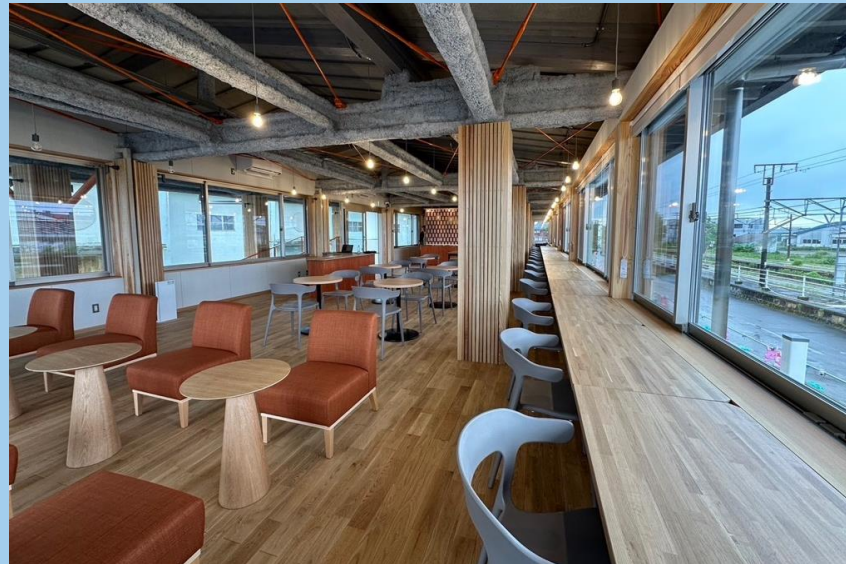


MITSUKERU

館内の設備



▲ソファー生地にはニットやテキスタイルを使用



▲カウンターテーブルで読書や学習など 電源も完備



▲フリースペースは電車の待合いやおしゃべりに利用

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 子ども・子育てを“どまんなか”へ

令和5年度

- ▶ 「見附市こども・子育てどまんなか条例」制定
 - ▶ 地域コミュニティの活動など見附の特徴を盛り込んだ内容
 - ▶ 初の「ですます調」の条例
- ▶ こども一人ひとりが見附の宝
- ▶ 地域や企業を含め みんなでこどもや子育てを支える
- ▶ 子どもをどまんなかにした子育てのできる地域社会の実現



- ▶ 市民と考えを共有し、市外にも広く発信
- ▶ 子育て世帯が住みたい、住み続けたいと思える見附をみんなでつくる



7つの柱 ②こどもと子育てを支える



Pick UP

Q. 見附市の子育て環境について、どの程度満足していますか？

(R4 市民アンケートより)

■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無回答

(%)

保育施設等

経済的支援

放課後児童クラブ等

相談体制

子にとっての治安

地域のイベント

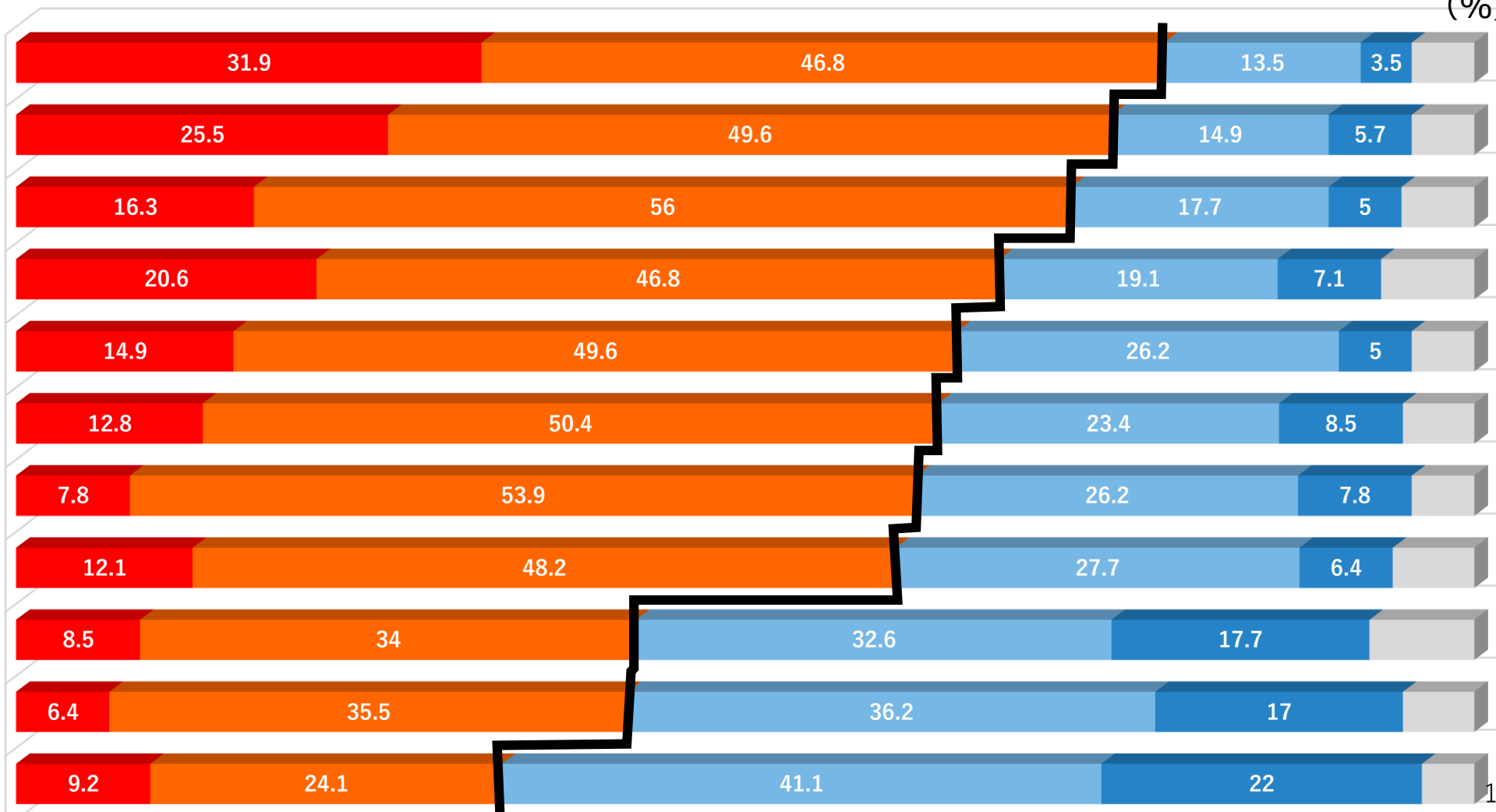
地域の人との関わりなど

母親の職場の理解

父親の職場の理解

子の移動のしやすさ

遊び場



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 働きながら育てられる環境整備

- ▶ 認定こども園・私立保育園の運営支援
- ▶ 放課後児童クラブの拡充
- ▶ 見附市こどもに関わる仕事人材バンク
- ▶ テレワークを推進し柔軟な働き方ができるよう支援
- ▶ 子育てしやすい職場づくりの後押し

R6 1園開園 1園リニューアル

R6 12→14施設

R6.6月スタート

人材確保効果も

→ 取り組む企業へのインセンティブ支援

県の「**ハッピー・パートナー企業 パパ・ママ子育て応援プラス**」認定事業者に
男女共に働きやすく、仕事と家庭が両立できる職場環境づくり等に取り組む企業

市からも支援

男女とも

- ▶ 奨励金交付
- ▶ 従業員に育休取得させた場合に助成金交付
- ▶ 既存の設備投資補助に上乗せ



- ▶ 見附市役所における先導的な取り組み



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 遊び場の確保、活動の充実、移動のしやすさ

▶ プレイラボみつけ

R5.7月オープン



▶ 駅交流拠点 MITSUKERU (駐輪場2階)



R6.5月オープン



▶ コミュニティバスの中学生以下無料化

R5.7月スタート



見附市コミュニティバス専用

中学生以下

タダけん
無料券

コミュニティバス全区間

R6.3.31 まで有効



▶ 大平森林公園の充実



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 中学生のスポーツ・文化活動の支援（部活動地域移行）

背景 (中学校部活動)

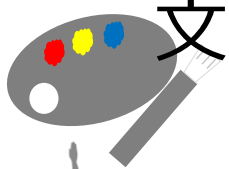
- ▶ 少子化による活動メニューの縮小
- ▶ 生徒の活動ニーズの多様化
- ▶ 教員の業務負担増

「スポーツ・文化活動の選択肢の確保」を念頭に
持続可能な活動体制の構築へ
(部活動の地域連携や地域クラブ移行を支援)



体育系部活動

休日の受け入れ先となる団体へ活動を委託



文化系部活動

様々な文化活動の体験機会を検討



部活動種目以外も選択できるよう検討

R6より5種目に拡大
ソフトテニス、卓球、野球、
バスケットボール、バレーボール

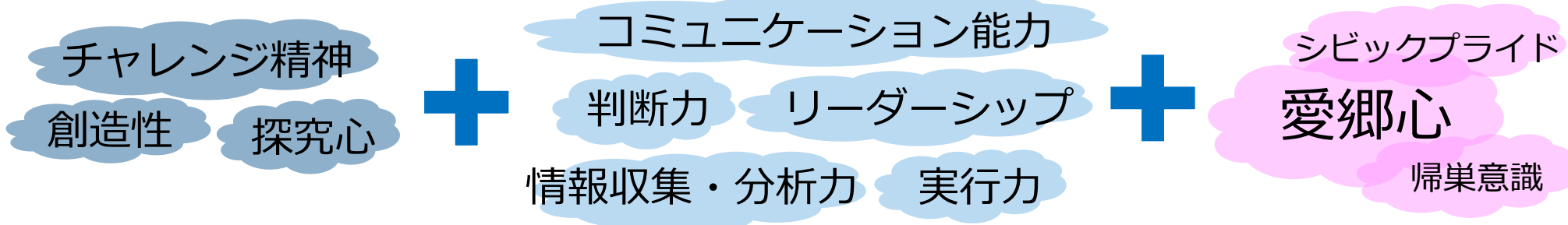


7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 見附で育てたくなる教育活動の充実

- ▶ **みつけJobチャレ教育** ～ 「起業家精神」「起業家的資質能力」の育成
小・中・特別支援学校で官民学が連携し起業体験や出前授業、
アイデアコンテスト等を実施

- ▶ 他者と協働しながら新しい価値を創造する力を育成
- ▶ 将来的な見附での起業・創業も期待



- ▶ 中学生の英検受験料の支援拡大
- ▶ ベトナム  ダナン市への中学生派遣の再開

7つの柱 ②こどもと子育てを支える

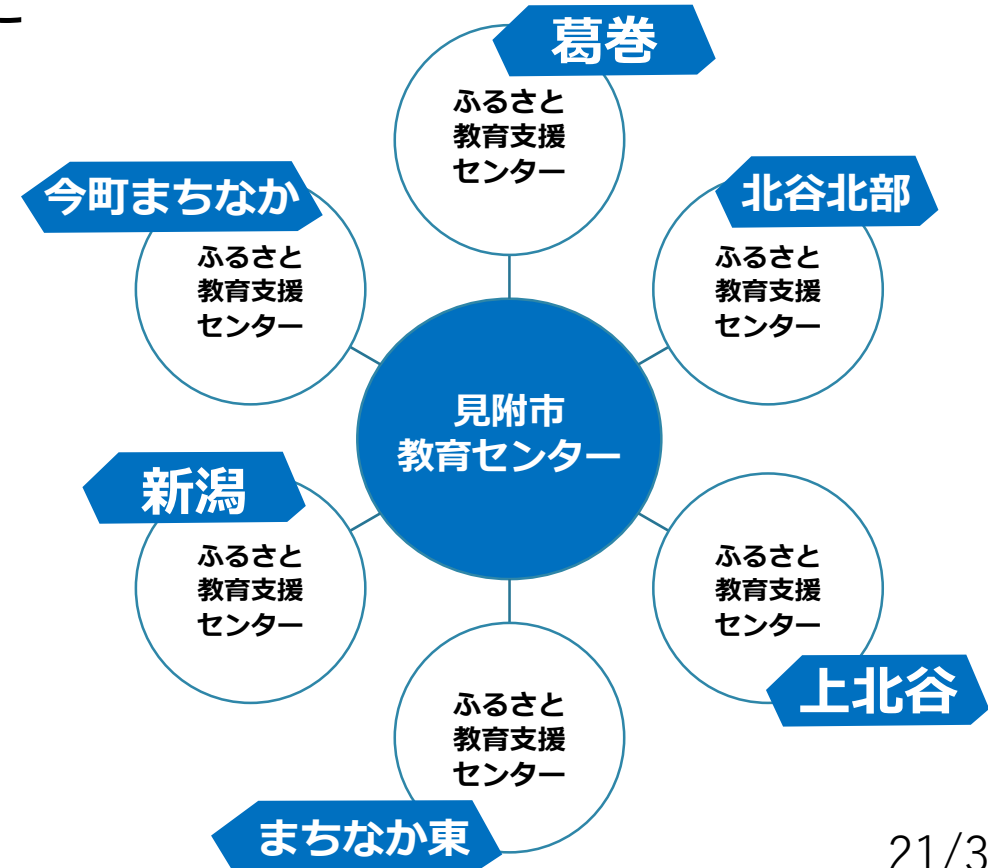
▶ 出産・子育てに対する負担軽減

- ▶ 1か月児健診を自己負担から公費助成に
- ▶ 第3子以降1・2歳児の保育料無償化の対象拡大
- ▶ 一時預かりを拡大し保育園在園児も対象に
- ▶ 「誰でも通園制度」

R6.5月試行開始
(市内私立4園)

▶ 取り残されることなく 子どもが育つ環境づくり

- ▶ 児童虐待対応の強化
こども家庭支援員の配置
- ▶ 不登校児童生徒に対する支援の充実
公民館に併設するふるさとセンターに
「ふるさと教育支援センター」を設置



7つの柱 ②こどもと子育てを支える

▶ 子どもたちが安心して学べる環境の整備

- ▶ 名木野小学校・見附小学校の改修
- ▶ 公立保育園の遊戯室へのエアコン設置



▶ 公立小中学校のあり方についての検討

背景

学級数や児童生徒数の減少、偏在

小学校

小規模校の取り組みへの評価の一方で、保護者からの不安の声も

中学校

中学校2校 老朽化に伴う大規模改修の予定

市全域での目指すべき教育環境の検討にあたり

令和5年度

子育て世代を中心に市民の声を聞く**タウンミーティング**開催

➡ 学校の適正配置などの教育環境を議論する検討委員会の設置

7つの柱 ③健幸づくりを支える

▶ 住んでいるだけで健やかで幸せに暮らせるまち
「スマートウェルネスみつけ」を
高齢者だけでなく若者や女性、子どもたちにも

- ▶ 健幸ポイント事業
 - ▶ 対象年齢を30歳▶18歳以上に引き下げ
 - ▶ 歩数計に加えアプリでも参加できる仕組みを導入

▶ みつけ子育てママ 健幸スマイルスタジオ

全国12自治体で連携



- ▶ 妊娠・出産を機に心身の不調が現れることも…
- ▶ 子育てでママ自身の健康が後回しになりがち

妊婦さんやママの健康づくりや子育て不安の解消へ

対面
＋
オンライン

筑波大学監修
プログラム

運動を通し
心身リフレッシュ

専用アプリで
健康状態把握

出産・子育て
情報交換



R5年9月からネーブルみつけ内
子育て支援センターで開始！

7つの柱 ③健幸づくりを支える

▶ スマートウェルネスみつけ の取り組み



▶ 地域医療体制の充実

- ▶ 診療所の新規開業に向けた積極的な誘致
重点5科目の開業に上乗せ支援(R4～)

内科 小児科 整形外科 精神科 産婦人科

➡ さらなる誘致を展開

- ▶ 市立病院の医師確保に向けた獨協医科大学との連携
卒業後の市立病院での勤務を条件に返済が
免除される奨学金の貸与
- ▶ 人工透析者の通院支援
自家用車や福祉タクシー利用料金の助成拡大



R5年4月 新町に3医院が新規開業
(小児科、内科、精神科)



7つの柱 ③健幸づくりを支える

▶ 誰も取り残さない社会の実現

▶ 重層的支援体制整備事業

- ▶ 高齢、障がい、子ども、生活困窮といった枠組みを超えた一体的な相談支援
- ▶ 令和7年度の本格実施に向け、関係機関との連携強化や支援体制の充実を図る



- ▶ 障がい者施策の強化
 - ▶ 障がい者雇用促進に向けた企業向けセミナー
 - ▶ 障がいを理由とした差別の解消や共生社会の実現を目指す条例制定へ
- ▶ 補聴器購入補助の年齢上限を撤廃 ▶ 高齢者の社会活動を促進

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

▶ ソフト面の防災体制の強化

- ▶ 地域コミュニティや市職員OBの協力
避難所開設等の体制を強化
- ▶ 外国人の避難に向けた取り組み
- ▶ 能登半島地震をふまえた初動対応や連絡体制、
避難所対応の検討
- ▶ 要支援者の個別避難計画の策定、フォロー
- ▶ 7.13水害20年プロジェクト
災害で得た教訓と防災技術の継承

総合防災訓練
6月23日



▲能登半島地震被災地の様子



▲平成16年の7.13水害の様子

7つの柱 ④暮らしの安心・安全を確保する

▶ ハード面の防災体制の強化

▶ 地震

- ▶ 中央公民館 吊天井の耐震化（設計に着手）
- ▶ 下水道などのインフラの耐震化、老朽化対策
- ▶ 木造住宅の耐震化に向けた補助の拡充、老朽化した住宅の除却の支援



▲能登半島地震被災地の様子



- ### ▶ 水害
- 貝喰川改修による浸水対策（県事業）
早期完了に向けた遺跡発掘調査の加速化



- ### ▶ 雪害
- 持続可能な除雪体制の整備や消雪パイプの維持管理

▶ 救急におけるスマホの活用

- ▶ 映像の送受信による円滑な応急手当の実施(**Live119**)



7つの柱 ⑤市民の皆様に寄り添う

▶ ICTを活用した市民サービスの充実

▶ 市公式LINEの導入

R5.11月 スタート
友だち募集中！



関心のあるジャンルや居住場所に応じた内容をプッシュ型配信

ごみ収集日のお知らせ

子育て関連情報

防災情報

イベント情報

- ▶ HPや緊急情報メール、SNSなど ICTを活用した効果的・効率的な発信
- ▶ 配布物の電子化に向けた検討

▶ 「書かない窓口」の運用

R5.1月 スタート

- ▶ 各種手続きの際の申請書の記入などを簡易化
- ▶ 9部署234の申請・手続きで運用



7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

▶ 市民活動・ボランティア活動

市民活動・
ボランティア
連絡協議会
(みつけボラーレ)
加盟団体数
(R6.3月現在)

保健福祉	18	地域活動	3
まちづくり	9	国際交流	1
社会教育	5	子ども	18
文化芸術	35	科学技術	1
環境	4	計	94

※このほかにも多くの団体が活発に活動

➡ **引き続き支援**



**持続可能な市民活動体制の構築に向け、
体制整備や担い手の確保をバックアップ**



▲イングリッシュガーデンの植栽等を行う「ナチュラルガーデンクラブ」

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

英国以外で初！英国の国民的園芸競技会

▶ ブリテンインブルーム「ゴールドコミュニティ賞」受賞

- ▶ 受賞者：見附市・ナチュラルガーデンクラブ・
ケイ山田氏 監修・指導 運営・管理
- ▶ 評価：①市民ボランティア団体を中心とした
ガーデンの管理・運営
②地域コミュニティ・市民団体・学校・
企業など市内全体での緑化活動

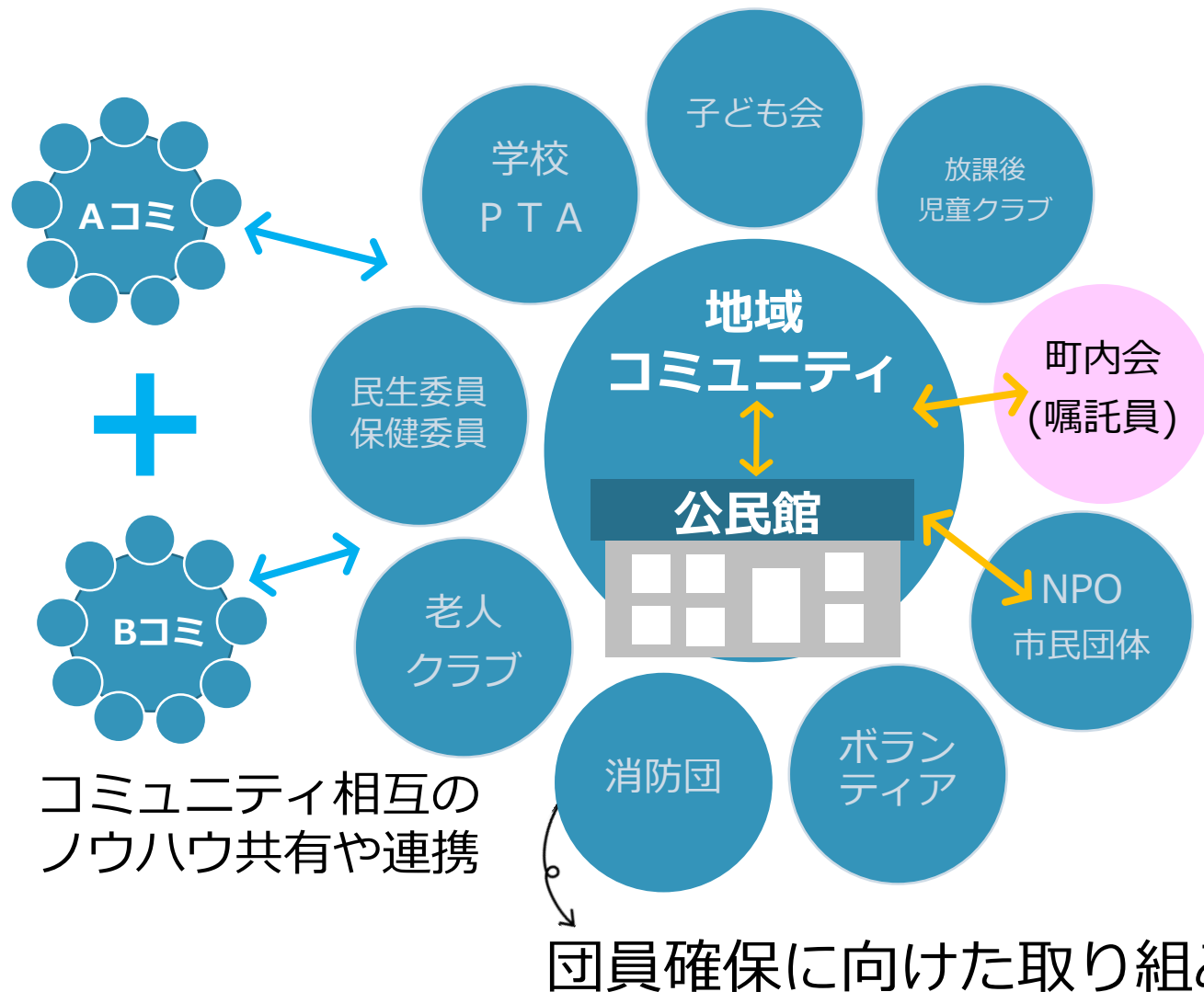


▲R6.5月
ロンドンにて授賞

- ▶ イングリッシュガーデンを核とした
花と緑のまちづくりを市民の皆様とともに継続
- ▶ 観光インバウンド、移住・定住の促進にもつなげるよう発信を強化

7つの柱 ⑥あらゆる力を結集する

▶ 地域コミュニティの活性化



地域課題の解決に向けた取り組み

- ▶ 子ども
- ▶ 高齢者
- ▶ 防災
- ▶ 移動支援
- ▶ 多世代交流
- ▶ 安全安心、居場所の創出
- ▶ 見守り支援
- ▶ 緊急情報メールの登録、マイタイムライン作成
- ▶ コミワゴンの積極活用 など

- ▶ さまざまな組織との連携や市のサポート
- ▶ **提案型予算制(チャレンジ枠)導入**
地域課題の解決に向け、より主体的な活動を後押し

7つの柱 ⑦行財政を検証し必要に応じ見直す

Pick UP 中長期財政計画による見込み (R6.4月更新)

多くの年度で歳出超過の見込み

	R3 実績額	R4 実績額	...	R10 見込額	R11 見込額	R12 見込額	(円)
市の基金増減額		▲ 1億26百万	...		▲ 7億67百万	▲ 8億32百万	
市の基金残高	47億96百万	46億70百万	...	12億77百万	5億10百万	▲ 3億22百万	

大きく減る見込み ⇒ このままではR12年度に基金はなくなる

- ▶ 地場産業の活性化や企業誘致、ふるさと納税など
 収増増加につながる取り組みを推進
- ▶ 公共施設やその運営方法の最適化を含め、事業の検証や見直しを推進

 **取り組みを
加速**

ふるさと納税
寄附額
R6 目標額 **1.5億円**
前年度実績比約**3**倍

企業版ふるさと納税
寄附額
R5 実績額(見込) **270万円**
前年度比約**10**倍

イングリッシュガーデン
協力金等
R5 実績額(見込) **1,000万円**
前年度比約**3**倍

 **課題解決に向けた新たな取り組みへの財源を確保**

おわりに

市民の皆様との
懇談の場の設定

情報収集と分析

市民の皆様の
声や課題の把握

職員による
施策の議論と提案

市役所の
人づくり
組織づくり

地域や時代のニーズをとらえた施策をボトムアップで形成

みんなでつくる

暮らし満足No.1のまち